

1 えっ！「経済統計、実態とズレ（日経新聞・H18.6.12 付け）」

・「ちょっと待った！」、そんな一声を発したくなる新聞見出しです。記事では、「消費支出や収入など家計関連の経済統計が景気実態と一致していないのではないか、という懸念が出ている。調査方法や調査世帯の高齢化、各調査の“くせ”が影響しているのではないか。経済統計は、政府や日銀の政策運営の基礎となるだけに統計の精度向上が課題になりそうだ」と報じています。

・日頃、耳にする統計調査名が引き合いに出されています。家計調査（総務省）、商業動態統計調査（経済産業省）、毎月勤労統計調査（厚生労働省）、労働力調査（総務省）。この記事は、調査員の皆さんが調査現場で調査客体から発せられる質問「統計は何に使うの？」に対する説明のヒントを示唆していると言えませんか。



2 「平成 18 年度は…」経済産業省で全国会議！

・経済産業省は、5 月 15 日（月）、都道府県の経済統計主管課長を東京に集め、平成 18 年度主要事業の説明会を開催しました。窪田調査統計部長は挨拶で「調査環境が厳しい中、統計調査に携わる関係者の皆さんには引き続きご協力をお願いしたい」と述べ、統計づくりへの協力を訴えました。その後、担当室長や担当官からの事業説明が行われました。

・主な事項としては、①経済産業省の平成 18 年度統計予算は 31 億 93 百万円（対前年度比▲5.7%）、②調査票の提出促進運動（H17.9-11 月にオンライン提出の促進、非協力事業所への協力要請を国・県で実施）は効果があったこと、③政府統計の業務・システム最適化計画が策定されたこと、④平成 19 年工業統計の見直しを検討していくこと、⑤サービス関連統計の拡充を図っていくこと、⑥「経済センサス（仮称）」の検討課題について政府内の合意形成を行うため「経済センサス企画会議（仮称）」を新たに設置すること等です。



（会議会場の航空会館）

3 お疲れさま！意見交換や OCHA-プラザ見学もあり「調査員説明会」

・「えっ！調査員が大勢集まる？」それは、5 月 16 日（火）の調査員説明会（商業動態統計調査）のことです。折角、貴重な時間を使って集まるのですから、有意義でちょっぴり非日常体験のできる説明会にしよう、県経済統計室ではそう考えました。当日は、事業説明の後、県職員との意見交換会（日頃の想いや調査活動での出来事など）、帰路には県がこの 4 月新設した「しずおか O-CHA プラザ」（JR 静岡駅南口「水の森ビル」3 階）で特上の静岡茶を味わって頂き、お茶の香りの中で説明会は終了したのでした。

